

RPPC メールマガジン 第 724 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 5 月 9 日発行）

#### ■先週・今週の報道発表

##### 1. 「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」の改訂について

今般、リサイクル材の利活用に関する技術的知見の蓄積により各種ガイドライン類の整備が進んだことから、最新の技術情報を反映し、それらのリサイクル材の適切な利活用の促進を図るため、「港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン」を改訂しました。

【港湾局 H/P】

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port05\\_hh\\_000160.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port05_hh_000160.html)

##### 2. 第四次循環型社会形成推進基本計画（案）の公表及び本案に対する意見の募集について

今後の答申案の作成に向けた審議の参考とするため、5月8日（火）から5月28日（月）まで、本案について広く国民の皆様の御意見を募集いたします。

【環境省 H/P】

<http://www.env.go.jp/press/105453.html>

#### ■RPPC 事務局からのお知らせ

##### 1. 平成 30 年度 RPPC 定時総会について

・ 日程：平成 30 年 6 月 5 日（火曜）

・ 場所：ホテル アジュール竹芝

<http://www.hotel-azur.com/>

・ 13 時 30 分～15 時 00 分 リサイクルポートセミナー

・ 16 時 10 分～17 時 15 分 平成 30 年度 RPPC 総会

※詳細につきましては追ってご案内申し上げます。

## 2. RPPC 運営委員会について

運営委員の方には別途ご連絡済です。

日時：平成 30 年 5 月 29 日（火）

場所：（一財）みなと総合研究財団 3 階会議室 13:30～

### ■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 政府、第 5 次環境基本計画を閣議決定
2. 港湾局、みなと総研が OECD レポート報告会で LNG 拠点の可能性
3. 名古屋港金城ふ頭南岸壁新設、今年度地盤改良など

=====

### ◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 政府、第 5 次環境基本計画を閣議決定

政府は今後概ね 5 年間に取り組む環境保全に関する総合的かつ長期的な施策等を示した「第 5 次環境基本計画」を閣議決定した。カーボンフリーポートの実現や洋上風力発電の導入拡大を推進する方向性を盛り込んだ。

計画では第 1 部で環境政策の展開の方向性を示し、第 2 部で具体的展開に向け分野横断的な 6 つの重点戦略を設定。そして第 3 部において計画の効果的な実施として計画の点検・指標の活用、計画の見直し等について記載し、第 4 部で環境保全施策の全体像を体系的に記述している。

基本的な方向性のうち▽持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築では、環境政策の方向性として徹底した省エネルギーの推進を図ることとし、港湾空港全体の低炭素化による「カーボンフリーポート」の実現やモーダルシフトの促進等を行うべきと明記している。

.....

## 2. 港湾局、みなと総研がOECDレポート報告会でLNG拠点の可能性

国土交通省港湾局、みなと総合研究財団は4月26日、東京都内でOECD／ITF研究所長のスティーブン・パーキンス氏を招き、「OECDレポート調査報告会」を開催した。日本の港湾のLNGバンカリング拠点としての可能性について、調査結果を発表した。当日は民間企業等から170名の参加があるなど関心の高さを示した。

OECD／ITFは59の加盟国が参画する国際組織で、毎年1回交通大臣サミットを開催し産業界や市民社会のリーダーとともに、世界の交通に関する課題の解決に向けた戦略的な取組みについて話し合いを行っている。今回、我が国のLNGバンカリング拠点の可能性について調査結果をまとめたことから報告会を開催することとなった。

報告会に先立ち挨拶した菊地国交省港湾局長は、「我が国は世界最大のLNG輸入国であり、既存の基地も多数立地している。こうした優位性を活かしてアジアにおけるLNGバンカリング拠点を形成することを目指し、

今年度から拠点に必要な施設整備に対して新たな支援制度を創設した。東京湾、中部地区においてLNG燃料供給事業に関する検討が開始されている。OECDが日本の港湾のLNGバンカリング拠点の可能性について調査したことは意義深い。調査報告会が我が国LNGバンカリング拠点の早期形成に向けた動きを加速させることを願っている」、と述べた。

.....

## 3. 名古屋港金城ふ頭南岸壁新設、今年度地盤改良など

中部地方整備局名古屋港湾事務所は今年度、名古屋港金城ふ頭地区南側に計画しているマイナス12m延長260mの耐震強化岸壁について、名古屋港管理組合（名管）が別途整備する東西の取付護岸との接続部を対象に地盤改良工事に新規着手する。対象地区では現在、公有水面埋立計画に伴う環境影響評価手続きが行われており、順調に進めば今年12月頃には埋立免許が下りる見通しになっている。名古屋港湾事務所では同時期の現地着手を念頭に今後工事の発注手続きへと進める方針。

名古屋港金城ふ頭地区南側の整備は名古屋港のふ頭再編事業の一環として、くし形になっている老朽化した旧ふ頭間約16haを埋立て、前面にW63となるマイナス12m延長260mの耐震強化岸壁を整備する。同岸壁では大型化している自動車運搬船の受け入れを予定している他、背後の埋立地には名管がモータープールや荷捌き地を整備して自動車輸送の効率化を図る。また同岸壁は耐震強化として、緊急物資の輸送基地機能の役割も持たす。

【港湾空港タイムス 18 年 04 月 30 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。